

平成30年4月11日大分県中津市の土砂災害について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所

平成30年4月12日
18時00分現在
内閣府

- 1 **発生場所**（消防庁情報：4月12日8:00現在）
大分県中津市耶馬溪町大字金吉3929番地付近
（被災箇所は一級河川山国川右支川金吉川沿いで、土砂災害警戒区域（急傾斜）に指定）
- 2 **発生日時**（消防庁情報：4月12日8:00現在）
平成30年4月11日 3時48分頃
- 3 **発生状況**（消防庁情報：4月12日8:00現在）
土砂崩落により、行方不明者発生
- 4 **気象概要**（気象庁情報：4月12日17:00現在）
 - (1) 当時の気象状況
 - ・中津市耶馬溪のアメダス観測所では、6日から7日にかけて6ミリの雨が観測されて以降、11日まで0.5ミリ以上の雨は観測されなかった。
 - (2) 大分県の今後の見通し
 - ・明日13日にかけては、高気圧に覆われて概ね晴れるが、気圧の谷の影響により13日夕方からは曇りとなる見込み。
 - ・14日から15日は、低気圧や前線の影響で雨が降る見込み。
- 5 **被害状況**
 - (1) 人的被害
死者1名、行方不明者5名（消防庁情報：4月12日18:00現在）
※12日午後に現場で死亡が確認された1名の身元を確認中
 - (2) 住家被害（消防庁情報：4月12日18:00現在）
全壊4棟
 - (3) 土砂災害の概要（国土交通省情報：4月12日7:00現在）
 - ・被災箇所は一級河川山国川右支川金吉川沿いで、土砂災害危険箇所に指定
 - ・災害規模 幅約200メートル、長さ約250メートルが土砂崩れ（ヘリ画像より判読）
被災箇所付近の市道が通行止め
金吉川へ土砂流入が認められるが治水上の問題はなし
- 6 **避難状況**（消防庁情報：4月12日8:00現在）
避難勧告（4月11日8:00発令） 対象地域 大分県中津市耶馬溪町 世帯数8世帯19名
- 7 **その他の状況**

(1) 通信関係（総務省調べ：4月12日17:30現在）

	事業者（サービス名）	被害状況等
1 固定 （注）	NTT西日本	・被害なし。
	NTTコミュニケーションズ*	・被害なし。
	KDDI	・被害なし。
	ソフトバンク	・被害なし。
携帯	NTTドコモ	・復旧済み
	KDDI (au)	・復旧済み

	ソフトバンク	【携帯電話】 ・復旧済み 【PHS】 ・被害なし。
	UQコミュニケーションズ	・被害なし。
	ワイヤレスティップランニング	・被害なし。

○主な原因は停電及び伝送路断

(注1) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載

(注2) 携帯電話等事業者が設置している基地局数は各社で異なり、停波中の基地局数は、サービス影響の規模を直接表すものではない

(2) 放送関係 (総務省調べ: 4月12日17:30現在)

・中津市ケーブルネットワーク

土砂災害の救助作業の支障になるため、ケーブルを切断し65世帯に影響。(仮復旧に向け工事中)

→仮復旧済み。

(3) 郵政関係 (総務省調べ: 4月12日17:30現在)

・被害情報なし。

(4) 河川 (国土交通省調べ: 4月12日16:00現在)

・都道府県管理河川

・河川管理施設等被害

都道府県	水系	河川	市町村	被害状況		備考
				状態	箇所数	
大分	山国川	金吉川	中津市	その他	1	崩落土砂の流入(治水上の問題なし)

(5) 道路 (国土交通省調べ: 4月12日16:00現在)

・市道が被災により通行止め

・県道平原耶馬溪線(国道212号交差点～耶馬溪広域農道交差点)については、緊急車両等以外の車両の通行を制限

(6) 管理ダム関係、海岸関係、鉄道関係、自動車関係、海事関係、港湾関係、航空関係、物流関係、下水道関係、都市関係、住宅関係、観光関係 (国土交通省調べ: 4月12日16:00現在)

・現時点で被害情報なし。

(7) 医療関係 (厚生労働省情報: 4月11日18:30現在)

・大分県DMA T2隊派遣、大分県の要請によりDMA T1隊を追加派遣したが、17:58に活動終了。

8 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

4月11日06:14 情報連絡室設置

9 各省庁等の対応

(1) 内閣府の対応

・4月11日06:14 情報連絡室設置

(2) 警察庁の対応 (4月12日18:00現在)

【警察庁】

・警察庁は、午前6時14分、災害対策室長を長とする災害情報連絡室を設置し、関連情報を収

集中

- ・警察庁は、官邸にリエゾン要員を派遣（4月11日）
- ・警察庁は、被害現場に広域技能指導官を派遣（4月11日～）

【大分県警察】

- ・大分県警察は、本部長を長とする災害警備本部を設置（約220人体制）
（4月11日の活動）
 - ・大分県警察は、本部長を長とする災害警備本部を設置し、関連情報を収集中
 - ・機動隊、管区機動隊、中津警察署員が消防、自衛隊、民間事業者（重機）等と協力し、情報収集及び救助活動を実施
 - ※ 機動隊、管区機動隊約30人が、消防、自衛隊とともに夜間の救助活動等を実施
 - ・刑事部隊が中津署において検視活動等を実施
 - ・大分県警察は、災害救助捜索犬（囑託）2頭による捜索活動を実施。
- （4月12日の活動）
 - ・機動隊、管区機動隊、第二機動隊の約120人体制で、消防、自衛隊等と合同での捜査活動等を実施（～17:00）
- （4月13日の活動予定）
 - ・午前8時から現場で消防、自衛隊と合同で活動調整会議を開催し、その結果を踏まえて、午前8時30分から約110人体制で捜索活動等を実施予定

(3) 消 防 庁の対応（4月12日8:00現在）

- ・7時17分 応急対策室長を長とする消防災害対策室を設置（第1次応急体制）
- ・7時17分 大分県に対し被害報告について要請するとともに、管轄消防本部である中津市消防本部に被害状況の問合せをした。
- ・9時00分 国民保護・防災部長を長とする災害対策本部を設置（第2次応急体制）
- ・9時00分 大分県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請
- ・9時10分 消防庁長官から福岡県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動準備を依頼
- ・9時10分 消防庁長官から福岡県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め
- ・10時30分 消防庁長官から熊本県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め
- ・10時45分 消防庁長官から福岡県知事に対し、緊急消防援助隊（指揮支援隊）の大分県への出動を求め
- ・11時00分 大分県へ消防庁職員2名派遣

【消防機関の活動体制】

- ・地元消防機関の活動体制
大分県：中津市消防本部が10隊38名体制で活動（4月12日）
- ・県内応援消防本部の活動体制
大分県相互応援協定に基づき、大分県内の消防本部が中津市へ出動
出動人員：7消防本部 13隊 51名（4月12日）
- ・延べ出動人員（2日間）：26隊 102名
- ・緊急消防援助隊の活動体制
4月12日：出動人員 2県 12隊 53名
延べ出動人員（2日間）：26隊 115名
- ・緊急消防援助隊による活動等
4月11日10時20分 福岡市消防局の指揮隊1隊、救助小隊1隊、特殊装備小隊（重機及び重機搬送車）1隊及び後方支援小隊1隊が、大分県に向け出動（12時25分到着）
11時32分 福岡市消防局指揮支援隊長が大分県へ向け出動（12時10分到着）

着)

- 11時55分 熊本市消防局の指揮隊1隊、救助小隊1隊及び特殊装備小隊(重機及び重機搬送車)1隊が、大分県に向け出動(15時45分到着)
- 12時10分 熊本市消防局の後方支援小隊2隊が、大分県に向け出動(15時45分到着)
- 17時10分 北九州市消防局の指揮支援隊が大分県中津市に向け出動(18時10分到着)

・大分県消防防災ヘリの活動体制

- 4月11日 8時40分 大分県消防防災ヘリが、中津市上空で情報収集を実施
- 4月12日 中津市上空で情報収集を実施

(4) 防衛省の対応(4月12日 17:30 現在)

ア 災害派遣までの経緯

平成30年4月11日(水)、大分県中津市耶馬溪町において山崩れが発生し、住宅3世帯が土砂に埋まり、住人が安否不明となった。このため、11日(水)06時20分に大分県知事から第41普通科連隊長(別府)に対して、人命救助に係る災害派遣要請があった。

イ 対応内容

- 1) 活動部隊 陸 自 第41普通科連隊(別府)、西部方面航空隊(目達原)、第2施設群(飯塚)、第4施設大隊(大村)、自衛隊大分地方協力本部
- 2) 活動規模 人員 約250名(延べ約500名)
車両 約65両(延べ約130両)
航空機 0機(延べ2機)
その他 LO人員8名、LO車両4両
(LO人員延べ22名、LO車両延べ11両)

ウ 対応状況

- 4月11日06:20 第41普通科連隊のLO(人員2名、車両1名)が大分県庁に向け駐屯地を出発。
大分県知事から第41普通科連隊長に対して、人命救助に係る災害派遣要請。
- 06:50 第41普通科連隊のLO(人員2名、車両1両)が中津市役所に向け駐屯地を出発。
- 07:15 第41普通科連隊のFAST-Force(人員約25名、車両約5両)が現地に向け駐屯地を出発。
- 07:20 大分地方協力本部のLO(人員2名)が大分県庁に向け出発
- 07:23 第41普通科連隊の部隊(人員約50名、車両約15両)が現地に向け駐屯地を出発。
大分地方協力本部のLO(人員1名、車両1両)が中津市役所に向け出発。
- 07:25 西部方面航空隊のUH-1×2機(映像伝送機)が情報収集のため駐屯地を離陸。
- 08:50 第2施設群のLO(人員3名、車両1両)が中津市役所耶馬溪支所に向け駐屯地を出発。
- 09:00 第41普通科連隊の部隊(人員約40名、車両約10両)が現地に向け順次駐屯地を出発。
第4施設大隊のLO(人員2名、車両1両)が中津市役所耶馬溪支所に向け駐屯地を出発。
- 09:32 第4施設大隊の部隊(人員約10名、車両約5両)が現地に向け駐屯地を出発。

13:00 第2施設群の部隊（人員約20名、車両約10両）が現地向け駐屯地を出発。

18時00分 第41普通科連隊の部隊（人員約95名、車両約20両）が現地向け順次駐屯地を出発。

4月12日

前日に引き続き、第41普通科連隊等のLO（人員8名、車両4両）が大分県庁等で情報収集。

前日に引き続き、第41普通科連隊等の部隊（人員約250名、車両約65両）が人命救助を実施。

※24時間体制で捜索を継続中。

(5) 国土交通省の対応（4月12日16:00現在）

ア TEC-FORCE等の派遣

- ・リエゾンの派遣 のべ15人・日派遣（4/11～）（6人派遣中）
- ・TEC-FORCEの派遣 のべ36人・日派遣（4/11～）（14人派遣中）
- ・国土技術政策総合研究所（2名）及び土木研究所（1名）より専門家派遣中（11日16:00へりによる現地調査実施。12日9:30地上からの現地調査実施）
- ・TECドクター（学識経験者3名）派遣中（11日15:30地上からの現地調査実施）

イ ホットライン 山国川河川事務所長等より中津市長にホットライン

ウ 防災ヘリ はるかぜ号（九州） 11日9:30福岡空港離陸、9:45現地付近到着
11日16:10より、国土技術政策総合研究所（3名）及び土木研究所（1名）より派遣中の専門家により現地調査実施

12日9:51福岡空港離陸、10:18現地着後、被災調査実施

エ 災害対策用機械等出動状況

- ・九州地方整備局より、照明車4台、無人バックホウ2台、ロボQS（バックホウ用簡易遠隔操縦装置）1台、衛星通信車1台、Ku-SAT1台、対策本部車1台、待機支援車1台、計11台を派遣中

オ その他

- ・国土交通省及び大分県から大分県建設業協会に応急対応のためバックホウ派遣要請（人員（のべ約60人・日）、機械（のべ20台・日）を派遣（4/11～））（12日16:00時点）
人員約30人、建設用機械10台で活動中（12日16:00時点）

(6) 気象庁の対応（4月12日17:00現在）

- ・大分地方气象台より、大分県と中津市に気象支援資料の提供を開始（4月11日8時～）
- ・大分地方气象台等より、中津市に職員を派遣（のべ4人・日（4/11～））

(7) 国土地理院の対応（4月12日7:00現在）

- ・九州地方整備局防災ヘリで撮影したヘリサット画像から正射画像及び3Dモデル動画を作成し、関係機関へ提供（4月11日）

(8) 総務省の対応（4月12日17:30現在）

- ・大臣官房総務課に情報連絡室を設置（4月11日6:23）。

(9) 農林水産省の対応（4月12日18:00現在）

- ・中津市にリエゾン（九州森林管理局大分西部森林管理署職員）を派遣（4月11日）
- ・大分県に林野庁山地災害担当職員を派遣（4月11日）
- ・林野庁が学識経験者（鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授、森林総合研究所水土保持研究領域治山研究室室長）による現地調査を実施（4月12日）

10 地方自治体の対応等

- ・大分県：4月11日 5時40分 災害警戒本部設置
- ・中津市：4月11日 6時00分 災害対策本部設置